

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度 の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 1 日

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要

	①事務事業の概要（事務事業の全体像）	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
手段	<p>タクシーが地域の公共交通としての機能を十分に発揮できる様、効果的かつ健全な業務運営に必要な地域計画の作成などを行うため、タクシー事業の現状把握・分析を行うとともに、計画に定められた目標の達成状況について、評価を行う。</p>	<p>協議会・検討会への参加。</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
協議会・検討会への参加。	協議会の開催数	回	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
県西地域（市内）のタクシー事業者	市内タクシー事業者	社	2.00	0.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
タクシーが地域の公共交通としての役割を担う。	地域計画の目標数	件	9.00	0.00	9.00	9.00	9.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

(3) 投入量(事業費)の推移		(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	総投入量
投 入 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	○	○	○	○
		県支出金	千円	○	○	○	○
		地方債	千円	○	○	○	○
		使用料・手数料	千円	○	○	○	○
		その他	千円	○	○	○	○
		一般財源	千円	○	○	○	○
		事業費計(△)	千円	○	○	○	○
人 件 費	正規職員従事人数	人	100人	100人	100人	100人	100人
	述べ業務時間	時間	1.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	人件費計(△)	千円	3	12	12	12	12
	外注工事費(△)	千円	8	16	16	16	16

	トータルコスト(A)+(B)	十円	3	12	12	12	12
事業費の内訳	27年度事業費 実績(千円)				28年度事業費 予算(千円)		
合計		0				合計	0

(4) 当該年度の実施内容	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年 度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	茨城県県西交通圏タクシー特定地域協議会参画事	事務事業No.	40604000294	所属課	企画課
【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）					
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成21年10月「特定地域及び準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法」の施行により、特定地域の指定を受け、茨城県県西交通圏タクシー特定地域協議会が設置された。茨城県県西交通圏のタクシー事業の適正化及び活性化を推進することにより、タクシーが地域公共交通としての機能を十分に発揮できるようにするために必要となる準特定地域計画の策定・実施を目的としている。平成26年1月に一部改正法が成立・施行され、準特定地域に変更された。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
路線バスの廃止などに伴い、地域公共交通としてタクシーが果たす役割を認識するようになった。					
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的な内容					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

評価項目	
目的妥当性	①政策体系との整合性 （この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 公共交通の維持・確保は重要な政策の柱でもあり、結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 （なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 公共交通に関わる取り組みであり、妥当である。
効率性	③成果の向上余地 （成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない 業界を取り巻く状況は年々厳しくなっており、難しい状況である。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 （事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	<input type="checkbox"/> 影響有 タクシー事業者と行政、利用者が協議できる場がなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 （類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む））
	<input type="checkbox"/> (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 代わる組織・協議会はない。
	⑥事業費・人件費の削除余地 （成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費は発生していない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 （事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
	<input type="checkbox"/> 公正・公平である 多くの市民に関係する公共交通に係る事務であることから、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	協議会が開催された。																								
(3) 今後の事業の方向性 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 </div> <div style="margin-right: 10px;">→</div> <div style="flex: 1; border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 10px;"> (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる </div> </div>		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td><input type="radio"/></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		<input type="radio"/>		低下			<input checked="" type="checkbox"/>
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		<input type="radio"/>																						
	低下			<input checked="" type="checkbox"/>																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																							
		成果優先度評価結果 (9)																							
		コスト削減優先度評価結果 (6)																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）	
課長確認後の評価		
<input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う）	<input type="checkbox"/> C：終了、廃止、休止 D：2次評価へ提出	確認欄